

《履修上の留意事項》この授業は、各指導教員の指導に従うこと。
ただし、各発表会用抄録提出日、卒論提出日は厳守すること。

《担当者名》○児玉壮志 kodamas@hoku-iryo-u.ac.jp 坂上哲可 鎌田樹寛 本家寿洋 浅野雅子 近藤里美 浅野葉子 朝日
まどか 桜庭聡 西出真也 吉田彩華 山田桃子

【概要】

研究論文の作成を行う。ゼミ単位で各担当教員を配置し、担当教員の指導の元に研究論文を作成していく。研究論文の作成は、トピックを見つける事から開始し、研究疑問の洗練と研究背景の展開、文献レビュー、研究法の選択に至るまでの作業をゼミ内でのディスカッションを重視して進めていく。データ収集、データの分析、結果、考察に至る課程は各学生の研究テーマに応じて指導する。特に、トピックを見つけることや研究疑問の洗練には時間をかけ、臨床に直結する学生の創造性を鍛錬していく。

【学修目標】

卒業後も臨床疑問を研究へと育むために、研究論文を作成する過程を理解する。

1. 焦点化した研究的興味・関心の課題に基づいて研究疑問を列挙する。
2. 列挙した研究疑問に基づいたテーマを挙げる。
3. テーマに関連する文献のレビューができる。
4. 適切な研究法を選択し、それまでの課程を考察して文章化することができる。
5. テーマによっては、データの収集と分析、結果、考察に至る経過を文章化できても良い。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 } 15	個別研究指導(1)-(15)	研究計画の作成 研究の実施 卒論発表会へ向けた準備	学科の全教員
16 } 30	個別研究指導(16)-(30)	卒論発表会でのプレゼンテーション 卒業論文の作成	学科の全教員

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

個別担当教員、研究セミナー 担当教員が実施する。
研究遂行状況、発表会状況、提出論文の内容を総合して評価する。

【教科書】

配付資料「作業療法研究セミナー 卒業論文作成の手引」

【備考】

3年次前期授業「研究方法論」で用いた教科書と資料
3年次通年授業「作業療法研究セミナー」で用いた文献や資料
本授業における自身や担当教員による文献や資料など

【学修の準備】

各指導教員の指示によるが、図書館等での文献検索（テーマによっては、調査時間・実験時間も該当）や論文執筆に240分以上を費やすこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP6）社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および作業療法科学の開発を實踐できる能力を身につけている。